

世界難民の日に寄せて

2015年6月20日

特定非営利活動法人 なんみんフォーラム

6月20日は国連が定める「世界難民の日」です。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の発表¹によると、2014年に迫害や紛争、日常的な暴力から逃れた人の数は世界で約5950万人となりました。これは過去最悪の数字で、総人口が約6,000万人強であるイタリアやイギリスにも匹敵し、日本の人口の約2分の1に当たります。その半分は、シリア、アフガニスタン、ソマリアの3カ国が占め、スーダン、南スーダン、コンゴ民主共和国へと続きます。

移動を余儀なくされた人々のうち、166万人が157の国または地域で難民申請を行いました。その中の34,300人は保護者のいない子どもによるものです。

難民は日本にも来ています。2014年に日本は11人の難民を保護しました。また、人道配慮によって在留許可を認められた人は110人、第三国定住難民受入れ事業で受入れた人は23人、合計144人です。

残念ながら、日本社会で難民への理解が十分にあるとは言えません。そのため、たとえばイスラム教徒であるだけでテロ組織とのつながりが疑われたり、面倒に巻き込まれるから関わりたくない、などといった誤解が見受けられます。避難せざるを得なかった人はすでに多くを失い、心に傷を負っています。難民の多くは、それでも人生をやり直したいと思い、再起できる場所を探しています。また、受入国や受入れ地域にできるだけ迷惑をかけたくない、国情が安定したら母国に帰りたい、と多くが望んでいることも事実です。

6月20日の世界難民の日です。私たちなんみんフォーラムは、日本での難民支援活動のために、一層の努力を続けます。日本に逃れた難民が適切に保護され、社会に受け入れられて再生を図ることができるよう、切に願っています。

¹ UNHCR "Global Trends 2014: World At War"
<http://www.unhcr.org/pages/49c3646c4d6.html>